

キリストがすべて

第157号 2018年4月20日発行



CONTENTS	Page
巻頭言	1
特集記事	2
新学長・副学長座談会	
卒業生の声	6
ニュース	8
卒業生インタビュー	10
支援会ニュース	11
Information	14

- ① 学内の桜
- ② イスラエルスタディーツアー
- ③⑥ 卒業式
- ④ 韓国異文化実習
- ⑤ 海外語学研修

小林高徳学長の召天から半年が経とうとしています。お祈りと励ましに心より感謝申し上げます。大和学部長と私が交代で学長代行を務めてまいりましたが、なすべきことはおおよそ定まっておりますので、この間、教職員は一致協力して、引継ぎと今年度から始まる第3次中期計画の準備を行いました。

大学改革のコンセプトとして定めたのは「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」です。これは2015年度に始まった「神の国に仕えるプロジェクト」(略称: 神プロ)の成果の一つです。グローバル化した今日の世界における教育・学生支援を教職協働で改革し、推進してゆくことをめざしています。学生が喜び成長し、教会と社会の期待にかなう人が育ち、教職員もこの使命にますます励む。そんな好循環を生み出したいと思えます。

このコンセプトは、そもそも東京基督教大学のロゴマークに込められています。信仰の盾の中の円は地球を表しています。その「破れ口」に立ち、これを塞いでいるのはキリスト(XPI)の略語(XP)です。チャペルの重なり合う3つのドームも地球をイメージし、その重なり合う十字架にキリストの十字架が立っています。神と人の、人と人の、あらゆる破れ口に立つて下さるキリストにあって「破れ口にキリストの平和をもたらす人」を育てたい。TCUはそう考えてきましたし、ますますそうありたいと願っています。

Stand in the Gap 破れ口に キリストの平和を



東京基督教大学学長
山口 陽一



新学長・副学長座談会



山口 陽一 学長
大学改革の推進と共に教会との
関係強化に努めたいと思います。



大和 昌平 副学長(教育・学生支援担当)、
神学部長
教職協働で新概念を固めましたので、
それを前に進めて行きたいと思います。



ランドル・ショート 副学長
(グローバル担当)
様々な国の人たちが日本でしか、TCUでしか学
べないカリキュラムになれば素晴らしいですね。

Stand in the Gap
破れ口にキリストの平和を

教育・学生支援の
新しい体制
充実をめざす

2018年度から山口陽一教授が学長に就任し、新たな副学長ポストに大和昌平教授、ランドル・ショート教授がそれぞれ就任しました。「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」を大学改革のコンセプトとし、今年度から第三次中期計画(5カ年)を進め、2020年には創立30周年を迎えます。TCUの教育・学生支援とグローバル対応について、リーダーシップを執る三人が鼎談を行いました。

TCUの歩みの

振り返りと感謝

山口 TCUの設立は1990年です。神学科と国際キリスト教学科を設け、教会教職と信徒リーダーの育成をめざしました。2001年にすべて英語で授業を提供するACTSEESが始まり、64名の卒業生は日本と世界で活躍しています。2008年には国際キリスト教学科を国際キリスト教福祉学科に改称して介護福祉士の養成を始め、2010年に教会教職課程、2011年に教会音楽専攻科、2012年には大学院修士課程、2014年には博士課程を設置しました。これまでの歩みを感じたいと思います。

大和 大学設置の前にもさかのぼると、1980年に三つの神学校が合同し、そこから大学設置をめざし、教職協働で教会と社会にキリスト者を送り出したという大きなビジョンを掲げました。当時の志の大きさは本当に大事にしていきたいです。その中で今やるべきことを考えたいです。

山口 その当時は、賜物の結集という言葉がよく使われました。あの時の大胆さ、ビジョンの大きさを受け継いでいきたいですね。そして、フランクリン学長以来グローバル化推進に力を入れてきました。

シヨート 近年では、短期留学プログラムEAI(East Asia Institute)がスタートし、グローバル化がさらに進みました。また、アジア神学協議会(AITA)の認定審査、大学基準協会の大学認証評価、そして常にフィードバックをくださる教会関係者からの評価と、他者の目を通して評価を受けてきました。そのように厳しい目で見つめていただき、チャレンジを与えられたことは感謝でした。

山口 そうですね、他者の目は大切ですね。

小林高德学長の召天と

新しい体制について

山口 小林高德先生が学長に就任した2014年から、EAIなどグローバル化への対応が充実し、海外の協定校も12校まで増えました。また、教職協働で大学改革をめざす第二次「神の国に仕えるプロジェクト」(以下、神の国プロジェクト)が始まり、教育・学生支援を中心に改革を進めることになりました。TCU支援会は全国で15に拡大し、それとともに募金は毎年目標を達成して着実に伸びて来ています。大学改革のコンセプト「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」を定め、第三次中期計画を策定したところで小林学長が急逝されたのです。急な病のため出張先の米国での召天でした。年内は大和昌平学部長が、年明けからは私が学長代行を務め、新たな体制を準備してきました。大和学部長が副学長として学部と大学院の教育・学生支援を統括し、伊藤明生新研究科委員長が学部長を兼任、岡村直樹教務部長が大学院の専攻主任を兼任することで、教務部と学生部、学部と大学院の連携を強化しました。ランドル・シヨート教授にはグローバル担当の副学長となつていただき、菊池実神学科長が教会教職課程責任者、中澤秀教授が国際キリスト教福祉学科長、このように総力を結集して参ります。(p.09「2018年度からの人事」参照)

大和 私は小林学長の下で4年間学部長を務めました。振り返ると勉強の4年間だったと思います。自己点検評価、認証評価で大学行政を学びました。また神の国プロジェクトで教職協働で取り組んでいきました。改めて、小林先生が考えて来られたことを大事にしたいと思っています。特に、大学行政については非常に長けておられました。その視点で言われていたことを大事にしたいです。そして、教職協働で新コンセプトを固めましたので、それを前に進めていきたいと思っています。山口先生が今後5年間一貫して年間テーマをコンセプト

トに基づいて据えようとしています。みなでまとまっていきたいと思っています。

シヨート 小林先生はグローバル化についても非常に精通していました。これから、学内外での関係、仕事、継続する部分、穴をどうやって埋めるか、賜物の結集をいろいろな人が担うようになれたらと思います。

山口 大和先生とシヨート先生に私の在任中の副学長をお願いしました。大和先生には教育・学生支援を、シヨート先生にはグローバル対応を積極的に担っていただきたいと思っています。私はグローバル対応が得意とは言えませんが、シヨート先生が担ってくださることで大学の強みとなるでしょう。私は、大学改革の推進と共に教会との関係強化に努めたいと思います。教会あつてのTCUですし、21世紀の世界宣教者の育成をめざす本学への期待は広がっています。TCUは日本プロテスタント教会の広範な協力で宣教に役立ちたいと願っています。これまでの私の牧師としての歩みの中で与えられた関係性を生かしていきたいです。大和先生には学部長としての取り組みを生かし、教育・学生支援の充実を図っていただくことを期待しています。

大和 EAIでアメリカから多くの学生が来るようになり、さらに東アジアとの関係をより良く築いて広がっていく時代になったらと思います。そこにシヨート先生が立てられたのは摂理的な思いがします。

T「ハット」「Stand in the Gap」 破れ口にキリストの平和を」が めざすもの

山口 コンセプトの「破れ口にキリストの平和を」という言葉は神の国プロジェクトから生まれたものですが、そもそもTCUのロゴマークやチャペル設計に込められていた理念です。今後5年間の中期計画を「Stand in the Gap」で取り組みます。TCUは小さいながら多岐にわたる教育をしています。2学科4専攻、教職と信

徒の献身者教育、留学生と日本人、リベラルアーツと専門職職業人養成を繋ぎ合わせ、学部と大学院、教員と職員、大学と教会などの協力を二層強めていきたいと願っており、キリストがすべての課題の真ん中に立つて下さるよう、そのキリストの平和が実現されるよう努めたいと思います。

今日、グローバルズムが生み出したひずみ、「破れ口」がこの世界にあります。TCUの世界宣教はそこに「キリストの平和」をもたらすものでありたいと願います。国際キリスト教学専攻がめざすのはキリストの平和による神の国の平和構築です。

シヨート TCUのように日本人学生だけを見ても、学術的スキル、年齢、人生経験など、これほど多様な背景を持つ学生が集まるというのは珍しいのではないのでしょうか。日本の多くの大学は同じような偏差値の人が一緒に学びますが、TCUは日本社会、また教会の姿をより反映していると思います。多様な背景を持つ人々が共に学ぶというのは、決して楽しいことばかりではありませんが、非常に有益な学びの経験になります。ですからTCUは「Stand in the Gap」を実践する場でもあります。

山口 本日に学生も多様、カリキュラムも多様です。「破れ口」を小手先で埋めるのでなく、TCUのモットーである「キリストがすべて」に立ち戻って整理、統合したいですね。

シヨート 人は、自分のいる場所や環境に物足りなさを感じ、生まれ育った国や故郷を離れ冒険に出る時もあります。壊れた関係から逃げたいという人もいます。でも、逃げたと思った場所も壊れた場所です。ですから、壊れたところを隠さないで分かち合うことが必要です。TCUの教職員も学生も、欠けがあり問題を抱えた人々の集まりですが、「天の御国の二市民」同士として、どうやって一緒に歩いていけるかを学んでほしいです。

大和 このコンセプトにはそのような膨らみがあります

すね。大きな完成をめざして、キリストにある一致をめざしていきたい。この言葉をもって取り組むプロセスの中で皆がそれぞれに考えていってほしいです。そして「キリストがすべて」のモットー、ロゴマークの意味を共に見つめ直していきたいです。

山口 このコンセプトは、TCUの取り組み全般にかかわるコンセプトだと改めて思います。社会正義の実現に取り組む方々が掲げる言葉でもあります。三校合同以来の学園が、そしてTCUの福音主義に立つキリスト教世界観がめざしてきたことを再確認して、新しい時代に踏み出すコンセプトとしたいと思います。

【改革の中心①】

教育・学生支援について

大和 神の国プロジェクトが進んでいく中で、どのよう

に学生の必要に応えるべきかと話し、入口から出口までのトータルな支援について話し合っています。「学生の成長を第二に考える」の方針で、寮、チャペルも含めたトータルな支援を話し合いました。ここでは職員の人たちの賜物が用いられていると思います。どうしたらもっとトータルに支援していけるか考えてきました。今回、副学長として任命されましたので、その部分を全学的に広げていきたいと思っています。チャペルを中心にしたスピリチュアル・フォーメーション、人格教育を学生部と教務部だけではなく、全学的に取り組んでいきたいです。そして、世界的に見ても、神学の学びは非常に進んでいく一方、忙しすぎて乾いてしまいバーンアウトする学生が増えています。これはアジアの神学校でも同様の傾向があります。その中で、スピリチュアル・フォーメーションを中心にして全カリキュラムを作り替えたという神学校もあります。TCUでもそのようにできればと思います。TCUの特長は若い神学生が多いという点ですが、その点も踏まえて、若い献身者がトータルに成長できる大学となることをめざしたいです。そのためには、今後は、もっと教員同士で教育や人格的成長につい

て本格的な議論を深めていきたいです。

山口 大胆な議論を活発に行いたいですね。特にカリキュラムや教育内容の充実に取り組む学務会議で、しっかりと議論して結論を出していければと思います。そして、教授会は話し合う場所として自由に遠慮せずに議論できたらと思います。

大和 そうですね、国際・福祉・神学を一体としてとらえる学びについて、今後は教員免許課程の導入についてなどの検討事項がありますが、教育の本質的な課題について話し合いたいです。

シヨート カリキュラムのこととグローバル化のことは切り離せない問題です。すべて関連しあっています。そして、世界を意識してカリキュラムを考えることも大事です。日本キリスト教史などは、外国人や世界の教会が知るべきことですし、学びたいことだと思います。日本に学びに来る人たちは日本のことを勉強したくて海



外から来るわけです。私自身も、旧約聖書の授業を、日本の文脈で学ぶという視点をもっと取り入れたいと思っています。それが世界との接点になるのではないかと思います。様々な国の人たちが日本でしか、TCUでしか学べないカリキュラムになれば素晴らしいですね。

山口 もう一方で卒業後の進路という点を重視していきたいです。開学からやがて30年、キリスト教リベラルアーツ教育はあらゆるところで生かされる力ですが、苦勞しているのは卒業後の就職、進路が見えにくいという課題です。キリスト教福祉専攻の設置は、その課題に添えて具体的な資格を取得して社会に出て行くコースになりました。全人格的教育を大切にしつつ、教育理念を生かせる就職先をさらに開拓して行きたいと思っています。

大和 就職活動をしている学生たちからも、就職面接で神学部を出てなぜここで働きたいのか問われると聞きますね。

山口 ACTS-IES生の進路の課題もあります。当初は母国に帰り日本との架け橋となるという理念で始まりましたが、近年では日本で仕事をする人も増えています。日本であれ世界であれ、彼らは大いに活躍できる人たちですから期待したいと思っています。

シヨート そうですね。日本にいても海外にいても、どこにいても架け橋になれるような準備となる大学での学び、そのようなカリキュラムへと改善していけたらと願っています。

山口 キリストに献身した学生たちが最高に生かされるよう、学生の希望を大事にしながら、教育とキャリアサポートをしたいですね。

大和 エンロールメントマネジメントという観点で入学から卒業後の進路まで、学生が成長し、それぞれに相応しい形で社会との接続ができるようにサポートしたいです。

シヨート キリスト教の独特な文化だと思いますが、チャペルの証しを聞くと「TCUに来て何もできない人

間だということが分かった」という内容の話をよく聞きます。教員も高慢さを打ち砕こうとする部分がありますが(笑)、良い意味で自信を身につけてもらう必要があります。

大和 自己肯定感、謙遜と自信とのバランスが持てる人を育てたいですね。

【改革の中身②】

グローバル化の推進について

シヨート 日本人向けにTCUを宣伝すると「4人に1人が留学生、国内留学できます」と言い、海外で宣伝すると「日本人と共に学べます」と言うのですが、ともすると、お互いのことを学びの道具みに捉えてしまう危険性があります。しかし、廣瀬理事長が漫画『ワンピース』の話を聞いて、別々の目的を持つ人たちが同じ船に乗っているという話がありました。とても良いイメージだと思います。TCUのグローバル化は、日本人だけのためではありません。世界は流動的になっています。人々を利用するのではなく、お互いがお互いを助けていかなければいけません。私たちは、自分が人生の主人公だと思ってしまうがちですが、視点を変えれば、私たちは他の人のサポータープレイヤーでもあるのです。TCUにあるさまざまなプログラムを大事にしながら、正課・正課外活動を通じて、目的は多様で行き先も多様ですが一緒に協力して、体験できる場を作つていきたいです。日本人と留学生が協働するプロジェクト型の授業などを導入できたら良いと思います。

山口 この分野で「Stand in the Gap」が生かされることを願います。マモンの支配や「国中心主義ではなく神の国のグローバル化を推進したいものです。異なる価値観がキリストにあつて結ばれるとき、神の国の新しい価値観が生まれ、愛することが始まります。TCUではそれが始まっていますし、これから大いに伸ばしたいところです。

中期計画でのTCUのチャレンジ、30周年に向けて

山口 30周年は、中期計画の成果の中間報告、その先への起爆剤となるようにしたいと思います。独りよがりにならないよう、教会と社会の声を尊重して行きましよう。30周年記念誌にはTCU教育の実である卒業生のことを多く盛り込みたいと思いますし、全国の支援会とも協力して30周年に向かうプロセスを大切に、募金の飛躍にも努めましよう。

大和 TCUの前身校からの歴史を大事にし、キャンパスの中に展示する場所を作りたいですね。また、支援会が拡大していますが、2020年に向けてそのことを振り返りながらさらに支援の輪を広げていきたいですね。特に30年経った寮の修繕は喫緊の課題です。整えすぎなくて良いとは思いますが(笑)、風呂やトイレなど、時代に合った形にして使いやすくしてあげたいですね。

シヨート 2020年は東京五輪の年でもありますので、世界の目は日本に向けられています。これを機に、可能な限り、世界中の教会やキリスト教教育に携わっている方々に知っていただきたいですね。日本社会においても、神のミッションに専念している教会、そして、その教会と社会に仕えているクリスチャンユニバーシティがあることをアピールし、共に祝つていただきたいです。

山口 言い忘れましたが、小林前学長は、この度のコンセプト策定にあたって、文字通り「Stand in the Gap」のために苦勞されたと思います。「友となられたキリスト」は小林先生の信仰であり研究テーマでもありました。2018年度の年間テーマは「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を①『友なるキリストに添えて』」、年間聖句は「わたしはあなたがたを友と呼びました」(ヨハネ15章15節)です。志を三人四脚で受け継いで参りましよう。

祝! 御卒業

2018年3月9日に卒業礼拝(卒業式)が行われ、総勢58名が新しい地へと派遣されました。神学部は神学科24名(神学専攻3名、教会教職専攻21名)、国際キリスト教福祉学科14名(国際キリスト教学専攻9名、キリスト教福祉学専攻5名)の計38名が卒業し、大学院博士前期課程(修士)は19名(教会教職者コース15名、神学研究者・教育者コース4名)が修了し、教会音楽専攻科は1名が修了しました。



学園生活を通して 学び得たもの

国際キリスト教福祉学科
国際キリスト教学専攻

前田 恵

私は、寮で4年間を過ごす中で、誘惑に陥りやすいと強く感じました。自分をダメにするのも良くするのも選択権は自分であり、神様の声を聞き、祈っていく中で選択していくことが私たちに求められていることを学びました。

実際に、自分の選択が神様の選択とは違うと感じながらも、自分の選択を優先させた時、最初は幸せに感じましたが進むほどに辛くなっていく経験をしました。神様の御心に聞き従わなかった結果はこんなにも重たいものだと気付かされ、これをきっかけに同じことを繰り返さないように心がけています。

これは、TCUの環境によつて学ぶことができたことでした。キリスト者に囲まれて学生生活をしたから、深く考え重く受け止められたのだと思います。もし違う環境であれば、ここまで重く受け止めることは無かつたでしょう。この学園で4年間を過ごしたから、この経験ができ、神様の声に聞き従うことの大切さを学ぶことができたのだと信じています。



全てを 益としてくださる神

国際キリスト教福祉学科
キリスト教福祉学専攻

鶴若 実豊

私がこの場所で得た証は、「全てを益としてくださる神」です。言葉では何度も聞いたことがあるものですが、恥ずかしながら22歳の卒業間近になるまで真に理解していませんでした。

卒業生は「卒業チャペル」という機会が与えられ、チャペルで「この学校で得たものや思い出」などから証することになっています。私は「この学校で自分がどう変えられてきたか」というテーマで証しようと考えていました。その中で、何によって自分が変えられてきたのかを考えようとするときに、マイナス体験だと感じていたことが、かえって自分を成長させてきたことに気付きました。

TCUはとても忙しく、「神学校」なのに、神様から心が離れてしまう事があります。しかし、そんな時には友がいます。一人では祈れない時、一人では神様に向き合えない時、自分の代わりに、それを行ってくれる友がいます。そういった友も、ここTCUで受ける大きな恵みの一つだと思います。



一つの終わりと 一つの始まり

神学科神学専攻

福島 信

たくさんの交わりの輪や奉仕の機会があることがTCUの特徴だと思いますが、私にとっては委員会活動の経験が印象的です。4年間続けてシオン祭の運営に関わったこと、副寮長として男子寮での奉仕に打ち込めたことは大きな賜物でした。責任を負うことは試練でもありますが、役目を果たした時に得られる喜びは大きなものがあります。その中で一つのものを目指し仲間と一緒に働くことは、これからの人生にとっても大事な経験になりました。

完成を目指して仲間と進む道は決して辛いだけのものではなく、楽しみと喜びに溢れています。いつかこの命が終わった時、自分は何を残しているのか。神からどのような評価を受けるのか。そんな問いを覚えつつ社会に出て行けることは大きな成長だと思います。この4年間、様々な形で関わってくださった教職員の皆様、学生のみんなに心から感謝しつつ。



愛され、愛する歩みに
向かって

神学科教会教職専攻
国府田 祝子

この4年間、色々な自分を見せられました。楽しみ喜ぶ自分もいましたが、高慢になり裁く自分、忙しきで周りが見えなくなる自分、召しを見失い迷う自分、信頼を裏切られ傷ついた自分、不安と恐れで獣のように振る舞う自分。そのような未熟で恥ずかしい姿が多くあったと思います。しかし、それらをこのようにして分かち合えるのは、何にも勝る主の恵みがあったからです。悔い改める度に、主に赦され、やり直すチャンスが与えられていることに気づきました。

更に感謝なことは、友人が愛をもって関わってくれたことです。喜ぶときも、悲しむときも、イライラしたときも、傷ついたらときも、寄り添い支えてくれる友人が必ずいました。そのような愛の中で私は心を開き、成長することができたのです。そして今度は、私が愛する者になりたいと思つていきます。大切な友はもちろん、遣わされていく所でも主の愛をもって歩んでいきたいです。



「キリストがすべて」を
私の身をもって

大学院修士課程
教会教職者コース
拝高 潤一

TCUの4年間は、私にとつてかけがえない時となりました。日々学びやチャペルで語られるみことばや寮生活を通して、献身者としてほど遠い自分の現実に向き合われ、主の取り扱いに逃げ出したくなることもありました。

しかし振り返り、ここでの訓練は、私の前にへりくだらされると同時に、福音の恵みに生かされる喜びを体験し、宣教への思いがさらに増し加えられる経験ともなりました。またTCUや奉仕教会にて、苦しみを共に分かち合う友や、いつも励まし、教え導いて下さった尊敬する師が与えられたことは、何にも代えがたい恵みです。

その尊敬する師のお一人であり召天された小林先生や諸先生方のように、私もキリストを語るだけでなく、キリストに倣いて、遣わされる教会で主に仕え、「キリストがすべて」であることを「私の身をもって」(コロサイ1章24節)、力強く証していきたいです。

最後となりましたが、皆さんのご支援と祈りに心から感謝致します。



牧会の現場に
送り出されるために

大学院修士課程
神学研究者・教育者コース
全 志碩

2016年にTCUの大学院に入学し、早くも2年の際月が流れ、卒業を目前にしています。2010年に神学科を卒業して以来、6年ぶりに戻ってきた学園は、以前に増して勉学の熱意に満ちていました。何よりも、卒業後は何らかの形で牧会の現場に送り出されることに對する期待と不安とが、勉学を共にする同級生の皆の中にあつたのではないでしょう。その上での神学の学びは、知識に止まらない、より実際のなものととして理解することができたと思います。

入学時の個人的な目標は「日本福音化の突破口になるようなものを見つけよう」ということだったので、修士論文のテーマである「日本における家の教会のはたらき」について学ぼうことに、これだ！と言えるものを見出すことができました。「家の教会」を通して学ばされたことは、大学院で得た最も有益なものだと思います。これから牧会の現場に送り出され、教会に仕えていく上で、TCUで学んだことを存分に活かしたいと思つています。



主のみ声を聴く
ことを知って

教会音楽専攻科
松浦 富美

TCUの生活の中で多くの仲間を支えられたことで、私自身は大きく成長できたと思つています。神学の学びは、私には難しかったのですが、若い神学生たちと二緒に学べたこと、丁寧に教えてくれたこと、祈りあえたこと、その献身的な姿に学ばされました。そして、オルガンの音を聴くことを通して、主のみ声を聴くことを知りました。神様を賛美し、神様に捧げる演奏をすることを学ぶことができました。卒業試験での30分を超える演奏は、この2年間の集大成となり、これからの奉仕へ向けての基盤となると思つています。

授業に加えて、シオン祭、刑務所クリスマスコンサートなどの奉仕なども多くのことを学んだ時間でした。そして、試験などの忙しい毎日の中で、毎週木曜日のメドークラス(※)や、友人たちとの良い交わりの時間は心温まるひとときでした。TCUでの学びは終わりますが、これからも学びはずっと続いていきますので、主が照らされる道を歩んで行きたいと思つています。

(※)メドークラス：毎週木曜日にバルナバホールで開かれている学内のカフェ。教員の婦人たちが中心になって運営されている。

海外語学研修報告

国際キリスト教学専攻3年 遠田 ゆりな

国際キリスト教学専攻の必修科目である海外語学研修は、語学プログラムと2週間のボランティアプログラム、現地家庭のホームステイを通じて、「世界宣教を目指す世界観・神学・異文化理解」の構築を目的とする研修です。今回は、私を含めて9名が3か月ほど豪州アデレードに滞在しました。

オーストラリアは多民族国家と呼ばれ、多くの文化が入り混じっています。毎日、世界各国の文化の味見をするような体験でした。お互いに異文化を理解しなければ「対話のない争い」になってしまうこの場所は、人種や言語、文化などの違いを認めたくえでの、人と人のかかわりが大切であることを教えてくれました。

違いが多くある中で、共通点も多く見出したことが異文化理解にも繋がりました。特に教会に行くと、同じ神を信じている兄弟姉妹がいて、多くの違いを越えて共に主をたたえられる恵みがあり、英語力だけでなく霊的にも成長させられました。

この3か月間は「人を愛すること」を訓練された(今も訓練され続けていますが)特別な尊い時間でした。



退任・新任教員紹介



退任 片岡 政子

私はこの3月末をもちましてTCUを退職することになりました。

「信仰によってアブラハムは、(略)召しを受けたとき、これに従いどこに行くのかを知らないで出ていきました。」ヘブル11章8節

この言葉に押し出され、病院での働きからTCUという場に移り、福祉専攻の教員として9年間全力で勤めてまいりました。楽しかったです。春からは地域教会で、支援者としてTCUを応援したく存じます。本当にありがとうございました。



新任 菅野 綾

教会名:日本福音キリスト教会連合
湘南ライフタウンキリスト教会

主な学歴:東京基督教短期大学神学科
茨城県立岩瀬高等学校専攻科
(看護)

担当科目:生活支援技術
こころとからだのしくみ

学生広報スタッフブログ

学生広報スタッフのブログをご存知ですか？ 学生たちが日常生活や授業のこと、イベントの舞台裏などをレポートしています。今回は、冬学期から春休みにかけて行われた二つのレポートを紹介します。

韓国異文化実習

2017年11月24日～2018年2月20日に韓国異文化実習が韓国ソウルで行われ、国際キリスト教学専攻生2名が参加しました。韓国語学堂での韓国語の学び、ソウル市内での下宿生活、韓国の教会生活などを通じて韓国語と韓国文化を学びました。

詳しいレポートをぜひご覧ください！

http://www.tci.ac.jp/blog/tag/cross_culture_korea/



イスラエルスタディーツアー

2018年3月12～26日にイスラエルスタディーツアーが行われました。菊池実教授を団長として学生と外部からの参加者含めて30名が、イスラエルからイタリア・ローマへと聖書の世界を旅しました。

詳しいレポートをぜひご覧ください！

<http://www.tci.ac.jp/blog/tag/israel/>



FCCブックレット発行

FCCブックレットNO.10 発行
 「日本宣教におけるキリスト教葬儀
 — 開かれたキリスト教葬制文化を目指して」

料 1,000円+税

FCCブックレットNO.11 発行
 「ラテンアメリカにおけるキリスト教の様相
 — 統合的宣教と世界の教会への貢献」

料 1,000円+税

お申込方法
 氏名、ご住所、ご購入希望冊数をお書き添えの上、
 以下までお申込みください

申 東京基督教大学国際宣教センター (FCC)
 Email: fcc@tci.ac.jp FAX: 0476-31-5521

祝! 入学

入学礼拝(入学式)が行われました。

2018年度入学礼拝が4月4日に本学チャペルにて行われました。
 新入生・編入生は神学部と大学院合わせて57名です。内訳は次の通りです。



大学院

神学研究科神学専攻

博士前期課程(修士課程)1年次 18名
 (教会教職者コース14名、神学研究者・教育者コース4名)

博士後期課程(博士課程)1年次 1名

教会音楽専攻科 2名



2018年度4月からの人事について

2018年度の大学運営に関する体制と人事について
 以下のように決定しましたのでご報告します。今年度より
 新しく「副学長」と「教会教職責任者」の役職を設け、
 より特色を生かし、教会と社会に仕えるための体制を
 整えてまいります。ぜひ覚えてお祈りください。

【役職人事】★は新任

☆は新しく設置された役職、無印は前年度より継続

- 学長 山口 陽一 ★
- 副学長(教育・学生支援担当) 大和 昌平 ☆
- 副学長(グローバル担当) ランドル・ショート ☆
- 神学部長 大和 昌平
- 大学院研究科委員長 伊藤 明生 ★
- 神学科長 菊池 実
- 国際キリスト教福祉学科長 中澤 秀一
- 国際キリスト教学専攻長 岩田三枝子
- キリスト教福祉学専攻長 中澤 秀一
- 教務部長 岡村 直樹
- 学生部長 伊藤 明生
- 大学院研究科専攻主任 岡村 直樹 ★
- 教会教職責任者 菊池 実 ☆
- 家族寮主事 岩田三枝子 ★
- 図書館長 木内 伸嘉 ★
- ボランティアセンター長 森田 哲也 ★

【教員の昇任】 森田哲也 准教授に昇任

※全ての役職一覧ではなく、新任等について記載しています。

神学部

神学科

1年次 4名

2年次編入 1名

3年次編入 11名

神学科ACTS-ES

2017年秋季入学1年次 5名

2018年春季入学1年次 1名

国際キリスト教福祉学科

国際キリスト教学専攻1年次 11名

キリスト教福祉学専攻1年次 1名

2年次編入 2名

卒業生インタビュー

interview

キリスト教福祉学専攻開設10周年記念 卒業生インタビュー Part-1

2008年にキリスト教福祉学専攻を開設して2018年で10周年を迎えましたので、今年度の卒業生インタビューは同専攻卒業生を特集していきます。

第一弾は2期生の「キンちゃん」こと金尾雄二さんです。若い学生たちとともに、誰よりも若々しくキャンパスライフを過ごした金尾さんに、現在のお働きについて聞きました。

キリスト教福祉学専攻2013年卒業

金尾 雄二

宗教法人 日本同盟基督教団土浦めぐみ教会
障害者総合支援法指定事業所・児童福祉法指定事業所
「からしだね」所長

現在の働きについて教えてください

土浦めぐみ教会が宗教法人で運営している障害者総合支援法指定事業所・児童福祉法指定事業所「からしだね」で所長を務めています。この働きは、教会の祈りの中で生まれ、教会の人の必要性に応じて始まりましたが、地域の障がいを持つ方などなたでも利用できます。所長とは言っても下働きもしています。実際の訪問から、経理、労務管理、役所との書類のやり取りまで何でもやりますよ。

現在の仕事のやりがいはどういうところにありますか？

福祉の働きは、伝道ではなく、ケアが目的です。私たちは愛のプロになることを目指しています。イエス・キリストの救いの御業の素晴らしさを普段の一挙手一投足で伝えなければいけません。それはとても難しいことですが、それを目指していくと成長できると思います。その基礎はTCUで学んだ福祉学と神学によって築かれています。キリストは常に弱い人と一緒にいました。キリストに倣う働きになっているか、と自問しながらそこを目指して働くこと、それが生きがいとなっています。

TCUでの学びがどのように現場で生かされていますか？

TCUでは大事なことを学ばせていただきました。それは、すべての人が神様に造られ、愛されているということ。ほろくそに言われたり、良かれと思ってしたのに恨まれたりする時もありますが、そこから逃げたら恵みは味わえません。向き合い続けるために、その視点を持つことができたのはとても大きなことです。相手と密着して、生身の人を抱きかかえてみる、これがどれほど奥深い仕事か、やってみないと分かりません。

また、稲垣久和先生が提唱している「ケア命令」というのはとても大事な視点だと思います。弱い人たちとの関わりを通してクリスチャンが成長し、教会が変えられていきます。教会が変わるということは、地域社会が変わることにつながります。「宣教の業」だけではなく「愛の業」に仕えることが、個人の信仰を成長させ、教会を成長させ、そして地域社会を豊かにしていくと思います。

TCUに期待すること

キリスト教福祉学という学問を確立してほしいです。経験的なものと合理的なものが融合し、そこに絶対的な神学という神の存在をプラスして学べるというのは大きいですね。経験的なことだけでは使命感の砦を築けないけど、神学的な裏付けが確立されるとしっかりとした拠り所となり、安心して大胆に仕事ができるようになると思います。ぜひ、神学と福祉学の先生方が一緒になって作り上げてほしいです。それは社会を変えていくものになっていくと思います。

支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp

第7回 TCU支援会 全国会議が 行われました

3月26日に本学国際宣教センターを会場にして、第7回TCU支援会全国会議が行われました。現在、北海道から沖縄まで15地区でTCU支援会が設立し、各地区とTCUとの相互支援が行われています。各地区の特性が表れた活動内容が報告



され、いかに多くの方にTCUをアピールするか、創意工夫をされている様子からその熱意が伝わってきました。

TCU支援会は「TCUを支援する」という一方的な働きではなく、TCUと教会とがお互いに支援しあい神の国を建て上げることを目指して2018年度も活動していきます。

2017年度の 各地区の学園デー、TCUのつどい

- 5月13～14日 新潟地区学園デー 菊池実教授
- 5月14～15日 愛知・岐阜地区学園デー 井上貴詞准教授
- 5月22日 群馬地区支援会(共愛学園にて) 山口陽一教授
- 6月17～18日 三遠南信地区学園デー 中澤秀一教授
- 6月19日 岡山・広島・四国地区合同地区学園デー
丸山忠孝師、小林高德教授
- 9月16～18日 北海道地区学園デー 大和昌平教授
- 9月23～25日 福岡・山口地区学園デー 菊池実教授
- 10月15日 静岡地区学園デー 廣瀬薫理事長
- 11月13日 群馬地区支援会(新島学園にて) 山口陽一教授
- 11月18～19日 長野地区学園デー ランドル・ショート教授
- 11月18～22日 沖縄地区学園デー 下川友也師
- 1月20～22日 石川地区学園デー 伊藤明生教授

2018年度の予定

- 5月19～20日 新潟地区TCU特別講演会 木内伸嘉教授
- 5月26～27日 三遠南信地区学園デー 岡村直樹教授
- 5月26～27日 富山地区修養会 菊池実教授
- 5月28日 愛知・岐阜地区学園デー 岡村直樹教授
- 6月24日 岡山地区学園デー 吉持章師
- 9月15～17日 福岡・山口地区学園デー 伊藤明生教授
- 9月16～17日 北海道地区学園デー 宇内千晴講師
- 10月20～21日 四国地区学園デー 菊池実教授
- 11月22～25日 関西地区学園デー 菊池実教授

寄付金控除のご案内

本学の「明日の世界宣教者育成募金」への寄付金(献金)は、税制優遇措置の対象となり、所得税の寄付金控除と個人住民税の控除を受けることができ、献金額の最大約50%が控除されます。

所得税の寄付金控除

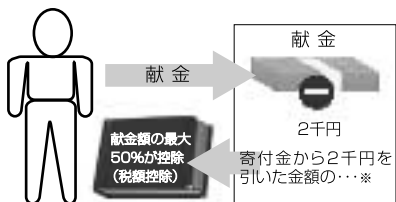
所得税の寄付金控除は、「所得控除」か「税額控除」のどちらかをお選びできます。

所得控除(従来の制度)

献金額(所得の40%が限度)-2千円を所得から控除

税額控除(新制度)

[献金額(所得の40%が限度)-2千円]×40%を所得税額から控除(所得税額の25%が限度)



※最大50%の控除は、千葉県印西市にお住まいの場合です。(税額控除40%+千葉県指定県民税控除4%+印西市指定市民税控除6%)

税額控除は、すべての寄付先への制度ではなく、東京キリスト教学園がその寄付先として認可を受けています。税制優遇の幅は、大学への寄付金に関して現行制度上で最も手厚くなっておりますので、ぜひご利用ください。

ご不明の点等、お住まいの市区町村役場または本学募金係まで、お気軽にお尋ねください。

便利な定期献金のご案内



●Web(随時・定期献金)設定金額1,000円~

TCUウェブサイトの「寄付金(献金)/TCU支援会」→右「Web寄付(献金)」にお進みください。VISA、Master、JCB、AMEX、Diners対応のカード引落しによるものです。

●郵便局自動引落(定期献金)月々500円~

お持ちの郵便局普通口座から毎月自動でお引落するものです。郵便局で「自動払込利用申込書」を下記のようにご記入、お申込ください。お申込には口座の登録印が必要です。

【自動払込利用専用】

払込先:TCU支援会、口座00110-3-79801、払込開始月:約1ヵ月後からの月、払込日:毎月25日、種別:33会費、備考欄に「毎月のお払込金〇〇〇〇円」をご記入ください。

『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2017年度(2017年4月~2018年3月)の『明日の世界宣教者育成募金』は、3月末までに1082の支援者の皆様より、9,467万円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

TCU支援の輪を広げるために友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

献金感謝報告

尊いご献金とご加禱、ご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。ここに2017年11月1日から2018年2月28日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。(敬称略)

大学献金

ATA/U有井同/Japan Bridge Mission / Nampo Church / TCU2015年度卒業生同期会 / 旭キリスト教会 / 麻布霞町教会 / 足立キリスト教会 / 渥美キリスト教会 / 姉ヶ崎キリスト教会 / 安城中央キリスト教会 / 井荻福音キリスト教会 / 五十嵐キリスト教会 / 池戸キリスト教会 / 活けるキリスト妻教会 / 生駒めぐみ教会 / 石川地区学園デー / 和泉福音教会 / 潮来教会 / 市川北バプテスト教会 / 市川こどもクリニック / 市川福音キリスト教会 / 一宮みきキリスト教会 / 市原平安教会 / いわきキリスト教会 / 磐田キリスト教会 / 印西牧の原キリスト教会 / 宇都宮聖書バプテスト教会 / 浦和福音自由教会 / 宇和島南伝道所 / 海老名シオンの丘教会 / 王子北教会 / 大野キリスト教会 / 岡山めぐみキリスト教会 / 桶川福音自由教会 / 春日部福音自由教会 / 金沢聖書キリスト教会 / 金沢中央教会 / 迦南教會 / 株式会社永明 / 株式会社ノア / 株式会社ひばり / 鎌ヶ谷教会 / 上大岡聖書教会 / 亀田キリスト教会 / 軽井沢キリスト教会 / 川越福音自由教会 / カンパウンド長老キリスト教会 / 日本中会 / 北秋津キリスト教会 / 北新淵キリスト教会 / 衣笠中央キリスト教会 / 岐阜キリスト教会 / 希望が丘教会 / 希望キリスト教会 / 行徳キリスト教会 / 京都聖書教会紫苑の会 / 共立基督教研究所 共立研修センター同窓会 / 久遠基督教会 / 久喜福音自由教会 / 釧路キリスト福音館 / 国立のぞみ教会 / クライスストミニステリ / クライスストミニステリ / 東神戸リバイバルチャーチ / 久里浜福音教会 / 久留米聖書教会 / 黒部キリスト教会 / 恋が窪キリスト教会 / 高座教会 / 甲府キリスト福音教会 / 神戸ルーテル神学校 / 古河教会 / 小平聖書キリスト教会 / 湖北パークサイドチャペル / 西大寺キリスト教会 / 坂之上バプテスト教会 / 佐倉王子台チャペル / 桜が丘キリスト教会 / 佐渡金井キリスト教会 / 志木新座めぐみ教会 / 静岡サミル聖書教会 / 静岡めぐみ教会 / 下馬福音教会 / 下北沢聖書教会 / 社会福祉法人日本キングスガーデン / 社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会 / 自由ヶ丘めぐみ教会 / 招待キリスト教会 / 沼南キリスト教会 / 女子聖学院PTA文化部 / 白井聖書教会 / 新鎌ヶ谷聖書教会 / 新札幌聖書教会 / 新松戸福音自由教会 / 須賀川めぐみキリスト教会 / 杉並教会 / 鈴鹿キリスト教会 / ゼーエバンゼリカルアライアンス・ミッション / 聖教会インターハートチャペル / 世田谷中央教会 / 草加福音自由教会 / 高岡福音キリスト教会 / 高田ラザリーチャペル / 高槻福音自由教会 / 高松シオン教会 / 玉川上水キリスト教会 / 多摩教会 / 多摩ユータウンキリスト教会 / 玉の肌石鹸株式会社 / たまプラーザキリスト教会 / 断食祈禱聖会 / 筑波キリスト教会 / 土浦めぐみ教会 / 津豊ヶ丘キリスト教会 / 手打ち蕎麦亭なるほ / 田園教会 / 東京キリスト教学園同窓会 / 東京基督教大学同窓会 / 東京国際基督教会 / 東御キリスト教会 / 東林聖書キリスト教会 / 所沢聖書教会 / 苫小牧福音教会 / 豊川中央キリスト教会 / 豊栄キリスト教会 / 豊橋ホサナキリスト教会 / 取手聖書教会 / 中津聖書教会 / 長野地区TCUセミナー / 長野福音教会 / 長良キリスト教会 / 名古屋福音自由教会 / 南紀キリスト教会 / 新津福音キリスト教会 / 西船橋キリスト教会 / 西堀キリスト福音教会 / 日本聖契キリスト教団 / 日本聖公会日本キリスト教連合会 / 日本長老教会中部中会 / 日本長老教会武蔵中会 / 日本バプテスト教会連合 / 日本フリーメソジスト教団 / 日本メソヂストキリスト教会会議 / 練馬神の教会 / のびどめキリスト教会 / 波崎キリスト教会 / 蓮沼キリスト教会 / 浜田山キリスト教会 / 東吾野キリスト教会 / 東久留米教会 / 東久留米キリスト者九条の会 / 東小金井教会 / 東広島めぐみ教会 / 東大和刈穂キリスト教会 / ひたち光教会 / 日立福音キリスト教会 / 福岡めぐみ教会 / 藤枝中央キリスト教会 / 仏子キリスト教会 / 府中西原キリスト教会 / 古川教会 / 平和台教会 / 蛭池聖書教会 / 本郷台キリスト教会 / 前橋キリスト教会 / 町田金井バプテスト教会 / 町田聖書キリスト教会 / 松原聖書教会 / 馬堀聖書教会 / 丸亀聖書教会 / 宮園キリスト教会 / めぐみの丘チャペル / 恵みバプテスト教会 / 盛岡みなみ教会 / やしおホープフルチャーチ / 八街キリスト教会 / 八街福音キリスト

教会／八千代聖書教会／大和郡山めぐみ教会／ゆりのきキリスト教会／洋光台キリスト教会／横浜キリスト福音教会／横浜シオンキリスト教会／横浜女子学院中学校高等学校／横浜永谷キリスト教会／横浜白山道教会／横浜山手キリスト教会／リビングチャペル／レイモンド学園／蕨福音自由教会／Brenda Thomason／Catherine Medinai／Hui Pui Fong／Jae Hoon Lee／Nikang Clovis Medinai／Okko Medina Bushuru Maraka／徐有珍／Takako Mary Sugiura／相島功／青木俊介／赤江弘之／昭代／赤穂芳子／浅井秀穂／浅井礼二／浅海幸弘／和子／朝岡満喜子／朝岡勝／阿部伊作／阿部大・美歌／荒井創／安藤博之・千恵／李京暉／飯田晶子／匿名／生亀俊一美代子／池上王士・桃子／池田アイ／石井由紀／石原美智子／井下尚紀／石山敏子／泉さえ／伊藤天雄／伊藤ふさ江／稲垣久和／稲葉裕／犬塚契・利奈／井上聡・直子／井上人美／井上志乃／井上貴詞／井上智彦／井上正彦／井上洋治／由枝／今井しのぶ／今田和子／今村弘子／入江喜久雄・直美／岩沢正樹／岩田順也／岩田三枝子／岩月順子／岩間秀彬／大重幸二／植草功吉／上田利昭／内野雅之・稔子／宇内千晴／江頭耿子／遠藤潔・禎子／大久保宣満／大下由利子／大島久子／大嶋義隆・大杉至／太田雅恵／大高市子／大野麻／大橋秀夫／大森幹夫／岡忠義／岡由美子／岡崎修市／岡田雄／岡村又男・末子／岡森雅浩ゆかり／奥山礼子／小倉ほなみ／小此内慎悟／長下部昇／小笹崇代／小沢啓子／小澤紘一・ナオミ／鬼塚弘通・啓子／小野浩一／小野幸信／小町継太／小町誠／鍵合恵子／影山範文／加瀬真弓／片岡政子／加藤和子／加藤正之／加藤美千代／金岡大二郎／金子裕／金城ふじ代／金田昭三／鎌田早苗／亀谷涼子／川崎晴美／川島敬子／川島正子／川嶋良治／川元久美／神田結実子／菅野淳一綾／木内伸嘉／菊池実／菊池良一・真恵美／岸幸恵／木下幸治／木下美鈴／木藤光子／金安信／久米のぞみ／倉沢正則・多美子／黒川知文／匿名／桑原淑行／小池宏明・紀子／河野日佐子／國分正子／児玉光・照恵／児玉幸／小塚朝生／後藤玲子／後藤弘／小林清／小林充尚／壽子／小林規子／小林宮子／小宮隆雄／匿名／小山望／小和田幸平／齋藤明夫・斎藤和己／斎藤潔・ますみ／佐川英美／佐久間章／笹川雅弘／佐々木保雄／佐竹十喜雄／佐藤省三／佐藤乃里

子／佐藤ひろ子／佐藤良子／佐中久美子／佐野慶・由美子／佐羽内玲子／沢谷千代子／塩見知司／塩見治子／重富優子／信太紀二／篠田澄子／篠原基章／柴田美枝子／渋谷俊雄／島田務・弥生／島田治夫／清水尚子／下川友也ヨリ／下崎香世／下部文孝／張賢國／白倉まり子／菅沼威／菅原好江／鈴木くるみ／薄佳志子／鈴木洋宣・尚美／鈴木政則／鈴木光男／鈴木陽一／鈴木洋子／ステパノ・ランクリン／関野祐一／千田由美／高木弦／高木実／高梨雅子／高橋篤／高橋得治／高橋信希・千尋／高橋信子／高橋宣広／高橋伸幸／高橋めぐみ／匿名／宝崎町子／竹中由季／竹本喜代子／多胡真太郎／立山剛／田中恭子／谷井広樹／谷本芳也・千夏／田淵健一郎・恵子／匿名／千葉秀悦／塚田真祈子／塚田真理子／塚田安喜／辻智恵／匿名／辻本文子／徳梅陽介／富岡昇／富所正史／外山節子／豊島集司／内藤昭治・ちよみ／内藤真奈／永井仁志／長石寛／中川洋佑・麻祐／中島伸一／中島誠／長橋和彦／永山治／中山良男／並木孝之／西原忍／西村敬憲・麻利子／西山幸子／根上可奈子／根本信子／根岸幸加／野島Eunos聖美／野本恒雄／連井智子／蓮尾英一／長谷川利保／長谷部純司・君子／長谷部秀英／畑和雄／馬場千晶／浜岡みのり／濱口義信／早見友雄・美江／原豊人・千春・原裕昭・みはる／原田明美／原田五月／原田真満／比嘉恵美子／東中喜彦／東畑意津子／樋口邦彦／久島健吉／久島真人／日名信介／平川俊光・江美／平川光宣・えり子／平田卓也／平塚治樹／平野武男・登美子／平野雅子／廣瀬薫・美穂子／フイリッブ・フオックスウエル／福田聖志／藤井正男／藤田正／藤田直樹／藤田文美子／藤原真規子／藤原美佐子／藤原尊夫・智子／古川弘幸／蓬萊朱美／面鼻あさの／星山正一・英子／細谷潔・紀弥／堀内幸二郎／本多英昭／本間邦／本間恵子／本馬信義／上門里美／前田倫男／牧野理恵・増淵正恵／町川洋三／松田信一／松永優智／松永優・順子／松成友子／松原正幸・丸井勇／丸山園子／丸山友子／万城栄治・久美／万城紘・啓子／三川京子／水越悦夫・佳子／溝口昌樹／三宅章之／宮原孝夫／宮原尚美／宮本あゆみ／宮本京子／宮脇星児・栄子／向後孝美／虫明英雄／匿名／虫明令子／村山和輝／毛利佐保／森明夫・律子／森恵子／森田和子／森田哲也／森本文子／森本祥子／森本信幸・麻子／森本英利・好恵／森山洋子／矢

田信雄・和子／谷中清子／柳沢美和子／数田三保子／山内慎也・吏奈／山岡勝次／山川暁／山口三治／山口陽一／大和昌平／山本和義／山本博愛・恭代／山本美喜男／山本陽一郎・順子／横山清行／留美子／横山武／吉田篤・賜美／吉田智恵子・隆／吉田雅尚／吉田満知子／吉水啓次・あや子／吉野弘子／吉持章／吉持尽主・優香理／吉持日輪生／和田郎・栄子／渡辺真理子／渡邊美津子

大学院献金
枝川愛の教会／鴻巣福音自由教会／志木新座めぐみ教会／新松戸キリスト教会／西武柳沢キリスト教会／津豊ケ丘キリスト教会／東京国際基督教会／浜松中沢教会／東大宮福音自由教会／みことば福音教会／盛岡みなみ教会／阿久津康彦／荒井創／新井竜治／栗野桂子／飯田晶子／伊藤天雄／岩田順也／岩田三枝子／宇内千晴／遠藤潔・禎子／金田昭三／川島敬子／川島祥子／神田結実子／小林宮子／齋藤弘司／櫻井菊子／佐藤乃里子／信太紀二／篠原哲二／篠原基章／張賢國／武田厚子／田中幸子／田村真／徳田信／中山良男／野島Eunos聖美／馬場千晶／早川佳枝／原田性座耶ここと葉／平野雅子／水越悦夫・佳子／宮崎淳子／森健／山口陽一／大和昌平／山守謙・横森剛

教会音楽献金
柏キリスト教会／クリスマスコンサート／自由ヶ丘めぐみ教会／湘南のぞみキリスト教会／卒業修了記念コンサート／千葉栄光教会／筑波みことば教会／薄沼キリスト教会／昼下りのコンサート／八街栄光キリスト教会／横芝キリスト教会／新井竜治／匿名／伊藤天雄／岩田順也／岩田三枝子／宇内千晴／大高市子／川島敬子／神田結実子／菊池実／君塚光治／倉沢正則・多美子／小林宮子／佐藤乃里子／信太紀二／篠原基章／匿名／富所正史／内藤真奈／西田暁子／馬場千晶／平野雅子／松永優・順子／溝口昌樹／匿名／山口陽一／大和昌平

夏期伝道献金
南紀キリスト教会／二宮山西キリスト教会／Boskain Takao／伊藤天雄／岩田三枝子／遠藤潔・禎子／片岡政子／川島敬子／神田結実子／菊池実／倉沢正則・多美子／小林宮子／佐藤

乃里子／信太紀二／篠原基章／島海祥／原田真満／藤田直樹／柳沢美和子／山口陽一／山下真実／大和昌平／吉田雅尚

異文化実習支援献金
徐有珍／飯田晶子／伊藤天雄／岩田三枝子／遠藤潔・禎子／片岡政子／加藤美香／川島敬子／川元久美／神田結実子／クック・デイビッド／倉沢正則・多美子／小林宮子／佐藤乃里子／篠原基章／菅原好江／田村真／匿名／根岸幸加／平野雅子／森優子／森田哲也／柳沢美和子／山口陽一／大和昌平

教会教職者志望学生奨学金基金
医療法人恩澤会自由ヶ丘医院／金沢キリスト福音教会／馬堀聖書教会／八千代聖書教会／金谷植／飯田晶子／伊藤規子・慎太郎／伊藤天雄／岩田三枝子／内山茂生・智佐江／宇内千晴／遠藤潔・禎子／片岡政子／川島敬子／川島正子／神田結実子／木内伸嘉／菊池実／倉沢正則・多美子／小林宮子／小宮隆雄／佐藤乃里子／佐藤良子／信太紀二／篠原基章／谷口精子／田村真／徳梅陽介／歳森登喜恵／中川洋佑・麻祐／永田定昭／並木孝之／馬場千晶／早川佳枝／原田性座耶ここと葉／平塚治樹／平野雅子／藤田正／溝口昌樹／三井平康／匿名／柳沢美和子／山口三治／山口陽一／山下真実／大和昌平

留学生奨学金基金
千葉ユータウン・パプテスト教会／八千代キリスト教会／金谷植／徐有珍／阿部伊作／伊井洋子／飯田晶子／伊藤天雄／岩田三枝子／宇内千晴／遠藤潔・禎子／大下由利子／岡田雄／川島敬子／川島祥子／神田結実子／菊池実／クック・デイビッド／倉沢正則・多美子／小林宮子／佐藤乃里子／信太紀二／篠原基章／張賢國／田口倫子／田村真・崔在邱／島海祥／内藤真奈／根岸幸加／野瀬朋子／平野雅子／藤田直樹／溝口昌樹／宮原孝夫／匿名／匿名／森恵子／森優子／森田哲也／柳沢美和子／山口三治／山口陽一／大和昌平

学校法人東京キリスト教学園
明日の世界宣教者育成募金
〇〇二〇一五七五七六四八

Information

所…会場 日…日時 講…講師 料…受講料
問…問い合わせ先 申…申し込み先

オープンキャンパス

宿泊をご希望の方は一泊まで無料で寮等に宿泊できます。また定期的に教会に通っている方で、全てのプログラム参加者に交通費の補助を差し上げます。

日 5/11(金)～5/12(土)寮一泊型[5/12(土)のみ参加可]、6/16(土)、7/14(土)

内容 学部・学科説明、在学生によるTCU紹介、キャンパスツアー、模擬授業、学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談

申 問 本学ウェブサイトからお申し込み下さい。
教務課入試担当 (TEL.0476-46-1131)

パイプオルガンさんこんにちは Vol.18

日 5月12日(土) 13:30～15:00

所 本学チャペル

内容 オーボエとオルガンによる名曲アルバム

料 無料

※詳しくは、大学ウェブサイトをご覧ください。

2018年度教会音楽アカデミー公開講座

日 第1回 6月4日(月) 13:10～15:10

講 岩瀬まこと

(シンガーソングライター。東京基督教大学非常勤講師。)

内容 「PAについて」PAのイロハから始めて、教会が抱える具体的な問題について考える。

所 本学大教室

料 有料の講座になります。

詳細は後日ウェブサイトにてお知らせします。

屋下がりのコンサート

日 6月19日(火) 12:20～12:50

演奏 ピアノ河村まなみ(バイオラ大学ピアノ科講師)

内藤真奈(東京基督教大学音楽講師)

所 本学チャペル

料 無料

問 東京基督教大学教会音楽アカデミー
TEL:0476-46-1131(代)
E-mail:music@tci.ac.jp

編集後記

メジャーリーグ・エンゼルス大谷翔平選手のめざましい活躍のニュースを聞きながら、この春TCUを出たルーキーたちを思っています。地味ではあっても神の国を建て上げるための確かな一歩を覚えて祈る日々です。

発行人:学長 山口陽一

編集:東京基督教大学「大学報編集委員会」 270-1347 千葉県印西市内野三丁目301番5 TEL.0476-46-1131 FAX.0476-46-1405
URL www.tci.ac.jp Facebook www.facebook.com/TokyoChristianUniversity

世界宣教講座

日 6月11日(月)～15日(金)

講 ジャック・サラ (Jack Sara)

ベツレヘム バイブル カレッジ (Bethlehem Bible College) 学長、
世界福音同盟 (中東・北アフリカ地域) シニアコンサルタント

テーマ 「2000年を越えて—中東におけるキリスト教—」

問 世界宣教講座委員会 TEL:0476-46-1131

第47回夏期教会音楽講習会

「葬儀と音楽」

—キリスト教葬儀とその音楽について—

日 7/19(木)～7/21(土)

所 東京基督教大学

対象 音楽奉仕者(指導者・奏楽者・賛美奉仕者など)、
学生(中高生含む)、教職者、信徒有志

実技レッスン受講生定員 各12名

料 受講料:17,000円 聴講料:12,000円

中高生:10,000円(受講・聴講同額)

《主なプログラム》

主題講演、演習、合唱、実技レッスン、分科会など

申込〆切 6/18(月)必着

第一回 実践神学講習会

日本宣教におけるキリスト教葬儀

—未信者に開かれたキリスト教葬制文化を目指して—

日 7/19(木)～7/21(土)

所 東京基督教大学

内容 ①日本人の死生観・日本の葬儀の宗教的背景と現状
②キリスト教葬儀の実践神学的な裏付け
③未信者のための葬儀の実際(模擬葬儀)と終活
セミナー

講 稲垣久和、倉沢正則、篠原基章、柴田初男、
清野勝男子、野田和裕、大和昌平

対象者 教職者及びキリスト教葬儀に関心のある方
(先着30名)

料 12,000円(『ブックレット』、教材費含む)

申込〆切 6/20(水)必着

申 問 TEL:0476-31-5522 FAX:0476-31-5521

E-mail:fcc@tci.ac.jp(教会音楽)

jmr@tci.ac.jp(実践神学)

夏期教会音楽講習会は郵送でも受け付けます。
大学ウェブサイトの詳細がアップされ、そちらからも
お申込みいただけます。